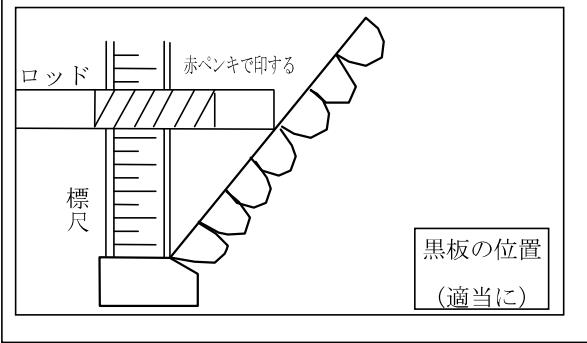


| 工 種 | | 撮 影 基 準 | 撮 影 箇 所 |
|---------------------------------|---|--|------------------------------------|
| 1 共 通 工 事 | 10.コンクリート付 帶構造物 コンクリート基 礎、側溝、管渠、 横断構造物、コン クリート擁壁、そ の他上記に準ず るもの | 線的な構造物については施工延長お おむね 40~80mにつき 1 箇所の割合 で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。 箇所単位の構造物については適宜撮 影する。 | 床掘、基礎、幅、厚さ、配筋、高 さ、その他必要箇所を撮影する。 |
| | 11.精度を要するも の 分水工計量部 ゲート戸当部 橋台脛部 | 構造図の寸法標示箇所を撮影する。 | 幅、厚さ、高さ、配筋、その他必 要箇所を撮影する。 |
| | 12.U字溝 U字フリューム ベンチフリューム | 施工延長おおむね 50~100mにつき 1 箇所の割合で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。 | 施工状況、その他必要箇所を撮影 する。 |
| | 13.土水路 | 施工延長おおむね 200~400mにつき 1 箇所の割合で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。 施工延長を示さない場合は、1 ~ 2 工 区につき 1 箇所の割合で撮影する。 | 幅、厚さ、高さ、法勾配、その他 必要箇所を撮影する。 |
| 2 ほ 場 整 備 工 事 | 14.鉄筋組立 | 1 スパン（1 打設ブロック）ごとに撮 影する。 | かぶり、中心間隔、その他必要箇 所を撮影する。 |
| | 1.表土扱い | おおむね 10 a 当たり 1 箇所の割合で 撮影する。 | 表土厚を撮影する。 |
| | 2.基盤造成 表土整地 | 上記と同一。 | 基盤面、表土埋戻後を撮影する。 |
| | 3.畦畔復旧 | 施工延長おおむね 200~400mにつき 1 箇所の割合で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。 | 幅、高さ、その他必要箇所を撮影 する。 |
| 4. 道 路 工 事 | 4.道路工 (砂利道) | 幹線道路は 50~100mにつき 1 箇所 の割合で、支線道路は 200~400mに つき 1 箇所の割合で撮影する。 | まき出し厚さ、転圧、厚さ、幅、 その他必要箇所を撮影する。 |

| 撮影方法 | 管理方法 |
|---|------|
| <p>4. 基礎等が土砂又は水面に埋設する場合、法長の測量点を赤ペンキ等で印をする。</p> <p>印の位置はなるべく 1 m とか 2 m のように整数値とする。</p> <p style="text-align: center;">写真例</p>  | |
| | |